

『脳の研究』最前線

Keyword

脳、昆虫、聴覚、コミュニケーション、情報処理

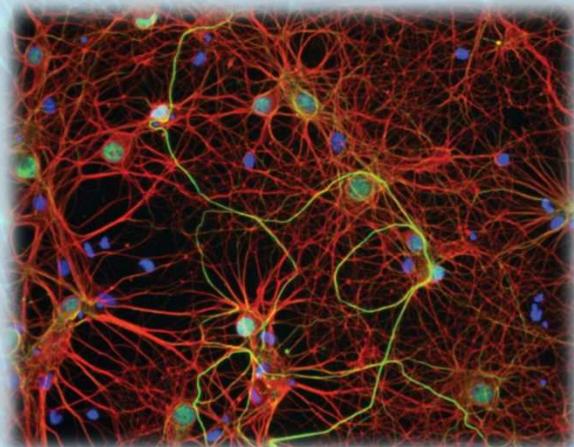


科学技術の進歩によって、私たち人間は自然界の様々なものごとを理解できるようになりました。しかしまだに、私たちは自分自身のことを理解できていません。また、地球環境も大きく変動しており、理解を基にした対策を考える時期にきています。私は2015年、2017年、2019年に、ここ半田高校で開催されたサイエンスコミュニケーションでの講師として、脳研究の最前線についてお話ししました。前回のお話から2年経った今、脳の研究はさらにめまぐるしく発展し、AIの分野にもその成果が活用される時代がきています。また地球環境の変動に伴い、私たちも改めて、研究の進め方を考える時期にきています。そこで今回は、私たちがこれまで取り組んできた「昆虫の脳が音を理解する仕組みの解明」を発展させることで、どのように世界に貢献できるのか、私たちが最近進めている研究プロジェクトの話題を軸にして、アイデアなどをお話しします。

講師

上川内 あづさ 教授

名古屋大学大学院
理学研究科



12月20日(月) 14:00~15:30 (交流会~16:45)

会場:愛知県立半田高等学校 七中記念館

(名鉄住吉町駅より徒歩8分)

当日は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して行います。
ご来場の際は、マスクの着用にご協力ください。

受付 13:30~
講演 14:00~15:30
交流会 15:45~16:45

入場無料